

■第八次土佐清水市総合振興計画(案)に関するパブリックコメントの結果について

通番	ご意見(全文)	ご意見(分野ごと切分)	回答
1	<p>土佐清水市総合振興計画のほうは、全体の骨子のみ記載されており、市民に何を問いたいのが明確ではありません。土佐清水市が置かれている現状は、マイナス要素ばかりが目につきます。市民は、市の存続に危機感を感じ、何かできることはないかと市政や市役所のありかたに憤りを感じている人も多いのではないかと感じています。できることから一つひとつのマイナス要素へ具体策をもって取り組むことが必要だと考えます。</p> <p>取り組み方の提案</p> <p>1. 企画推進委員会の設置 役所の人材だけでなく、やる気のある市民をつのる。</p> <p>2. 市民参加イベントの見直し ・足摺踊りの参加チームがあまりにも少なく、各所への呼びかけを増やす。 ・各地で実施されている小さなイベントを支援し発展させる。 ・イベント同士のつながりをつくる。 ・月一回は市内のどこかでイベントがあるよう取り組む。 ・世界に知られるジョン万次郎の取組が、市民に浸透するよう考える。</p> <p>3. 人材発掘と協力依頼 芸術、経済、地域の伝承等に協力いただくことも有効のはず。</p> <p>まずもっと本気になって、市長・議員をはじめ市職員の方々に土佐清水市のありかたについて考えて、市をよくする取組を実施してほしいと願っています。</p> <p>今一度足元を見つめよく検討を重ね、一步一步取り組み、土佐清水が元気になるよう、市民も行政もがんばれる市にしてください。</p> <p>市民の声を文句ととらえるのではなく、耳を傾けてください。</p>	<p>土佐清水市総合振興計画のほうは、全体の骨子のみ記載されており、市民に何を問いたいのが明確ではありません。土佐清水市が置かれている現状は、マイナス要素ばかりが目につきます。市民は、市の存続に危機感を感じ、何かできることはないかと市政や市役所のありかたに憤りを感じている人も多いのではないかと感じています。できることから一つひとつのマイナス要素へ具体策をもって取り組むことが必要だと考えます。</p> <p>取り組み方の提案</p> <p>1. 企画推進委員会の設置 役所の人材だけでなく、やる気のある市民をつのる。</p> <p>2. 市民参加イベントの見直し ・足摺踊りの参加チームがあまりにも少なく、各所への呼びかけを増やす。 ・各地で実施されている小さなイベントを支援し発展させる。 ・イベント同士のつながりをつくる。 ・月一回は市内のどこかでイベントがあるよう取り組む。 ・世界に知られるジョン万次郎の取組が、市民に浸透するよう考える。</p> <p>3. 人材発掘と協力依頼 芸術、経済、地域の伝承等に協力いただくことも有効のはず。</p>	<p>総合振興計画p.2～3「第3節 計画の位置づけ・構成」に記載がありますが、総合振興計画は中長期的なビジョンであり、より具体的な個別の施策はまち・ひと・しごと総合戦略に記載しています。そちらもあわせてご覧ください。</p> <p>また、市政や市役所のあり方については改善の余地があることは承知しており、いただいた意見も踏まえ、効率的な行政・効果的な施策を検討し、推進してまいります。</p> <p>いただいた、ご意見は今後の方針の検討材料とさせていただきます。</p>

■第八次土佐清水市総合振興計画(案)に関するパブリックコメントの結果について

通番	ご意見(全文)	ご意見(分野ごと切分)	回答
2	<p>本計画案を拝見し、現時点における土佐清水市の課題整理や現状認識については、大変分かりやすく、共感できる内容であると感じました。避けて通れない課題を正面から捉えようとしている点は評価したいと思います。</p> <p>一方で、土佐清水市が将来どのような姿を目指すのかという“最終の着地点（ランドデザイン）”を、より具体的に示すことが重要ではないかと感じました。</p> <p>特に、市民や事業者にとっては、長文の計画書だけでは全体像を把握しづらい面もあります。将来像や施策の関係性について、インフォグラフィックや図解、ビジュアル資料を活用し、視覚的に理解できる形で示す取り組みがあれば、市民の理解と共感がより深まるのではないのでしょうか。</p> <p>あわせて、そうした資料制作については、従来の枠組みにとらわれず、表現力や編集力に長けた外部事業者の選定方法を見直すことも、今後の情報発信力向上につながると考えます。</p> <p>また、パブリックコメントの提出方法についても、現在はハードルが高いと感じる市民が少なくありません。ブラウザ上で簡単に意見提出ができる仕組みや、スマートフォン対応の導線整備など、より多くの市民が参加しやすい形への改善を期待します。</p> <p>これらの取り組みは単なる利便性向上にとどまらず、市役所自体がDX（デジタルトランスフォーメーション）を積極的に進め、市民との距離を縮めていく姿勢を示すものになると考えます。</p> <p>本計画が、行政内部の指針に留まらず、市民一人ひとりが「自分ごと」として未来を考え、関わっていくための土台となることを期待しています。今後の計画のブラッシュアップに、ぜひこうした視点も反映していただければ幸いです。</p>	<p>将来像や施策の関係性について、インフォグラフィックや図解、ビジュアル資料を活用し、視覚的に理解できる形で示す取り組みがあれば、市民の理解と共感がより深まるのではないのでしょうか。</p> <p>あわせて、そうした資料制作については、従来の枠組みにとらわれず、表現力や編集力に長けた外部事業者の選定方法を見直すことも、今後の情報発信力向上につながると考えます。</p> <p>パブリックコメントの提出方法についても、現在はハードルが高いと感じる市民が少なくありません。ブラウザ上で簡単に意見提出ができる仕組みや、スマートフォン対応の導線整備など、より多くの市民が参加しやすい形への改善を期待します。市役所自体がDX（デジタルトランスフォーメーション）を積極的に進め、市民との距離を縮めていく姿勢を示すものになると考えます。</p>	<p>本計画については、視覚的にわかりやすくデザインをした概要版を作成しました。また、今後においても、市民の皆さまにわかりやすいように視覚的な伝わりやすさを意識しながら取り組みたいと考えています。</p> <p>今回のパブリックコメントでは、1月広報にQRコードをつけており、そこから計画案の内容確認・意見提出ができるようにしておりました。今後もより回答しやすい回答フォームについて今後も検討してまいります。</p>